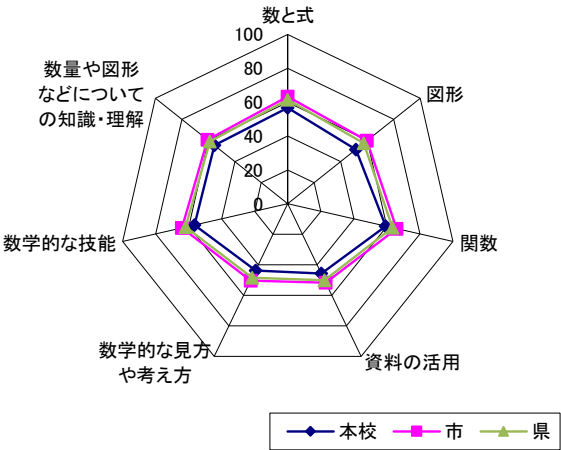


宇都宮市立社会中学校 第2学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と式	56.7	63.3	61.5
	図形	51.4	59.8	57.4
	関数	59.3	65.9	63.4
	資料の活用	45.7	51.7	50.1
	数学的な見方・考え方	43.8	50.4	48.5
観点	数学的な技能	56.5	64.1	61.9
	数量や図形などについての知識・理解	55.4	60.6	58.9



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○正負の数の計算、一次式と数の除法、分配法則の計算は、県平均よりも上回っている。 ●全体的に県平均よりも下回っている。特に、与えられた不等式の数量関係を正しく表したものを選ぶ問題や数量の関係を表す図から方程式をつくり答えを求める問題を苦手とする生徒が多い。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの 今後の指導の重点 ・計算練習を繰り返し行い、基礎基本の定着を図る。 ・文章を読み、意味を理解させ、文字を使った式や方程式を立てる練習を行う。
図形	○立体の投影図が表す見取図を選ぶ問題は、県平均とほぼ同程度できている。 ●おうぎ形の面積を求める問題や直方体において、ある辺とねじれの位置にある辺を選ぶ問題を苦手とする生徒が多い。	・図を丁寧に書かせるなど操作活動をたくさん取り入れ、図形に関する様々な知識の理解を深める。 ・面積や体積の求め方を理解させ、公式を確認し、繰り返し練習問題に取り組ませる。
関数	○座標を記入する問題は県平均よりも上回っている。 ●グラフから式を求めたり、比例の関係から式で表したりすることが苦手な生徒が多い。	・比例反比例の意味、グラフの書き方を十分に理解させる。 ・式・表・グラフを関連させて指導し、問題演習に取り組ませる。特に今後の1次関数の学習において、前年度、比例で学習した内容を復習しながら、繰り返し練習問題に取り組ませる。
資料の活用	○ヒストグラムから中央値が含まれる階級を答える問題やヒストグラムから理由を説明する問題は、県平均とほぼ同程度できている。 ●度数分布表から、階級や相対度数を求める問題を苦手とする生徒が多い。	・度数分布表、ヒストグラムなどの意味を理解させ、これらを使った問題を解かせ、パターンを覚えさせる。 ・関数同様に、式・表・グラフを関連させて指導する。